

ごけん

平成 30 年

秋

号

日本語検定 実施予定

平成 30 年度第 2 回 (通算第 24 回)

[一般会場] 11月10日(土)

[準会場] 11月9日(金)・10日(土)

[申込期間] 8月1日(水)~10月12日(金)

後 援：文部科学省／日本商工会議所

経団連事業サービス／全国連合小学校長会

全日本中学校長会／全国高等学校長協会

全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会

全国高等学校国語教育研究連合会

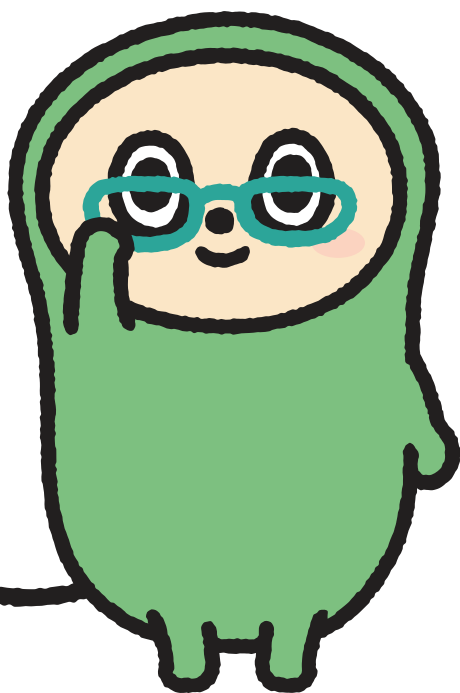
日本 PTA 全国協議会

全国高等学校 PTA 連合会

日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんご」

もくじ

ごけんインタビュー 梶田勲一	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
会場レポート	6
日本語大賞について	7
受検団体の声	8
にほんごあつてる？	10
受検案内／プレゼント・クイズ	12

特定非営利活動法人

 日本語検定委員会



「論理の力」で日本語を学び直す —新学習指導要領の下での国語教育—

学習指導要領の改訂に伴い、求められる資質・能力が変化する中で、日本語の力はどう位置づけられているのか。また新しい教育課程の中で、日本語検定の果たすべき役割は何なのか。心理学者・教育学者で、学習指導要領や国語教育についても造詣が深い日本語検定委員会・梶田叡一理事長に話を聞いた。

—今回の学習指導要領の改訂では、小学校での英語の教科化が話題になっていますが、英語を学ぶことと国語を学ぶことはどういう関係になるのでしょうか。

英語を学ぶことが、日本語の学びにどのような意味を持ってくるかと言いますと、一つには日本語の特徴が見えてくるということがあります。英語を学ぶことで、それとは違う言語体系である日本語がより深くわかってきます。例えば、同じ事柄を表したり、伝えたりするにしても、英語と日本語では論理の立て方が違います。英語が主語・述語で考えるのに対し、日本語は述語中心で考えます。主語・述語的なものか、述語中心のものかで、

言語の構造や意味合いが変わってきます。それは英語をやってみてはじめて気づくことです。

一方で、英語と日本語では論理の立て方が違いますから、事柄について考えるときに、あるときは日本語で考え、また別のあるときは英語で考えたりしていますと、思考が深まりません。必ずしも1 + 1が2や3になるとは限らないのです。下手をすると、1 + 1が0.5になる危険性があります。つまり、思考を深めるためには、一つの言語で考えることが大切なのです。このため、他言語を学ぶ際には、思考や問題解決するための母語である日本語の力を、より一層きちんと鍛えていかななくてはならないのです。

— 思考力や問題解決能力の基盤となる日本語を鍛えるためには、こういった教育が求められるのでしょうか。

今回の学習指導要領では、「主体的」「対話的」「深い学び」というキーワードばかりが目立っていますが、指導要領改訂の指針となっている中央教育審議会が示した答申では、「言葉の力」のことも強調されています。それは「言葉の力」を身に付けることが、あらゆる教科の学習の土台として非常に重要なことだからです。こうした「言葉の力」においては、特に「論理の力」が大事になります。

ヨーロッパの母語教育（国語教育）が、概念や論理を踏まえた論理的思考力の育成を重視してきたのに対して、これまでの日本の国語教育は、言葉が訴えかけてくるイメージや感情、気持ちを膨らませることばかりに囚われてしまいがちでした。本来であれば、「雪が溶けたらどうなるか」というときに、「春になって、気持ち晴れやかになる」ということよりも、「水になる」ということを、まず先に教えるべき、という反省があります。

国語の教科書に多く見られる物語や小説などの文学教材の取り扱いについても、同じことが言えます。まず言葉の意味を的確に読み取り、これを手がかりにして書き手の思いを想像し、最後にイメージをつかむ。この論理構造をしっかりと押さえなくてはなりません。言葉の持つ共通の定義を捉えることが、イメージの広がりとなるのです。小・中・高の現場の先生方には、今一度、こういった言葉が持つ「論理の力」を生かした授業に

取り組んでいただきたいと思います。

— 新しい教育課程においては、日本語検定はどのような役割を果たすことができるのでしょうか。

日本語検定の役割は、「言葉の力」を身に付けるための学習に貢献することであり、「論理の力」を身に付けるためには、本検定は最適な学習材料だと言えます。基本となる言葉の意味をしっかりと理解することや5W1Hを意識すること、与えられた選択肢から根拠を明確にして推測すること、といった日本語における共通基盤的な力を、言い表し方や書き表し方の観点から測ることができるからです。

一方で、日本語検定は、単に受験者の日本語の力を測るだけのものではありません。多面的な日本語が「検定問題」という一つの形となって社会に認知され、日本語のこの部分が大事だということを再確認できる一つの指標にもなっています。

教育を言葉という視点から捉え直し、正しく美しい日本語をもう一度組み立て直すという信念のもとで、2007年に始まった日本語検定は、2018年で12年目を迎えました。これからも、あらゆる学びの土台になる「言葉の力」を育むために貢献していきたいと考えています。

梶田 叡一（かじた えいいち）

1941年（昭和16年）島根県生まれ。京都大学文学部卒業。文学博士。心理学専攻。2008年より日本語検定委員会理事長を務める。現在、聖ウルスラ学院理事長。桃山学院教育大学学長など。2008年の学習指導要領改訂には、中央教育審議会副会長、教育課程部会長として関わった。著書多数。近著に、『教師力の再興』（ぶんけい）、『人間教育のために』『いのちの教育のために』（金子書房）がある。

ごけん情報板

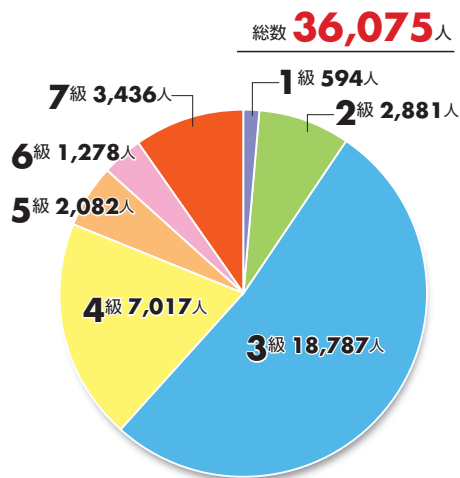
このコーナーでは、今年 6 月に実施いたしました、平成 30 年第 1 回（通算第 23 回）日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

今回の受検申込者数は 36,075 人となりました。今回、一般会場は 47 都道府県 84 都市 84 会場に設置しました。準会場は海外 3 会場を含めて全体で 610 会場でした。

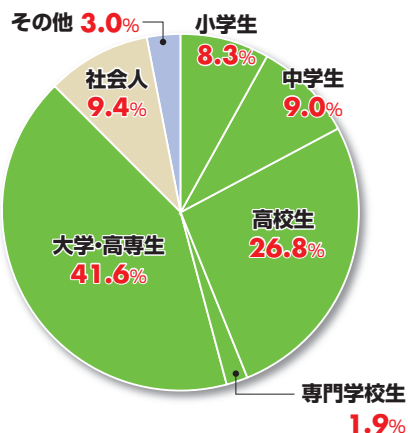
最年少の受検申込者は兵庫県の小学校 1 年生の女子（6 級）、最年長の受検申込者は、福井県の 93 歳の女性（4 級）でした。

◎平成 30 年度第 1 回（通算第 23 回）日本語検定

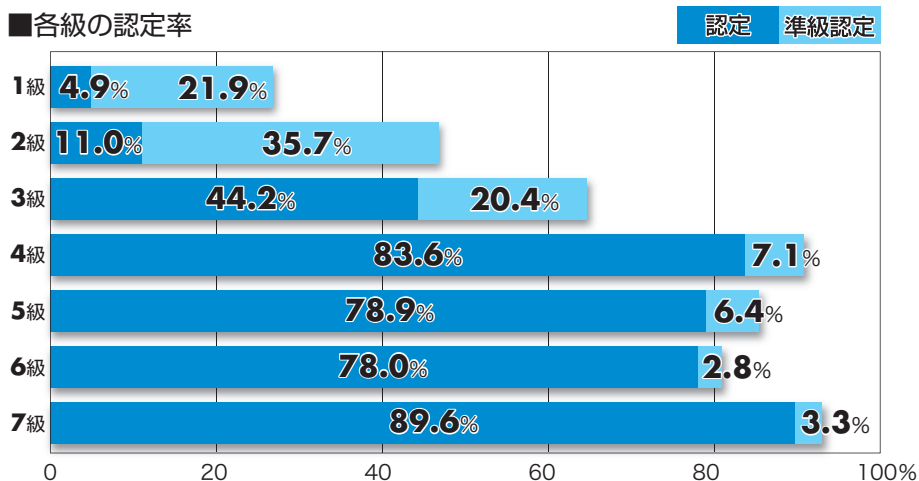
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の属性別割合



■各級の認定率



2～4級で、「漢字を書く」ことが求められている問題の中で、正答率が低かったものをご紹介します。

■4級では、パソコンで入力した時の漢字の変換ミスを探し出し、正確な漢字を書く問題が出題されています。

一 今日の敗因はチームの連係がまずかったことだから、特定の個人を攻めるべきではない。

★(正答)「攻める」ではなく、「責める」が正しい書き方です。(正答率 23%)

(誤答例)「連携」「連系」「連形」と、「連係」を変換ミスとしたものがみられました。

■3級では、二つの文の□に入る共通の漢字一字を書き、四字熟語や慣用句を完成させる問題が出されています。

一 ア 中国では、紀元前から幾多の王朝が榮□盛衰を繰り返してきた。

イ 痩せても□れても江戸時代から続く老舗旅館なのだから、そんな条件の買収にはとても応じられない。

★(正答)「枯」が入ってアは「榮枯盛衰」(えいこせいすい)、イは「痩せても枯れても」(やせてもかれても)となります。(正答率 49%)

(誤答例)「故」「古」など

二 ア 初めて訪れた神戸は、聞いていたとおり□国情緒にあふれる街で、趣のある洋館と中華街が印象に残った。

イ 会社の方針に、今さら□を唱えるつもりは毛頭ありません。

★(正答)「異」が入ってアは「異国情緒」(いこくじょうちょ)、イは「異を唱える」(いをとなえる)となります。(正答率 68%)

(誤答例)「諸」など

■2級では、□に入る適切な漢字一字を書き、四字熟語を完成させる問題が出されています。

一 私も七十を越えてから、年年□□、知人の訃に接するようになった。

※同じ漢字が入ります。

★(正答)「歳」が入って「年年歳歳」(ねんねんさいさい)となります。(正答率 4%)

(誤答例)「増」「日」「月」など

二 彼はその後、安心立□の境地を求めて寺で座禅修行を続けたという。

★(正答)「命」が入って「安心立命」(「あんしんりつめい」などいくつかの読みがある)となります。(正答率 12%)

(誤答例)「地」「身」「志」など

ここで紹介した問題以外でも、各級の「漢字を書く」ことが含まれる問題では、その漢字が使われている言葉の正確な意味や用法を理解していないことが原因と考えられる、思わぬ誤答が見受けられました。2級・3級で取り上げた四字熟語などは、ふだんから対策を立てていると思いますが、意味や用法の正確な理解ができていないと、正答にたどりつけないので注意しましょう。

東京23区会場・東京富士大学

6月9日（土）、平成30年度第1回（通算第23回）日本語検定が全国84か所の一般会場で実施されました。東京23区の一一般会場となったのは新宿区にある東京富士大学で、1級から7級まで合計693名が受検しました。

当日は前日までの梅雨曇りから一転して晴天となり、照りつける日差しに目を細めながら足早に会場へと向かっていく受検者の姿が見られました。

教室の扉が開いて入場となると、監督者に誘導された受検者が続々と入室していきま。席に着くと脇目も振らずに受検の準備に取り掛かる受検者の姿があちこちで見られ、教室には次第に張り詰めた雰囲気が漂っていきました。

今回も時事通信社の升谷昇記者のご協力を得て、受検動機などを聞きました。

2級を受検する営業職の男性は、「社会人として最低限の日本語をマスターしたい」と今回2度目の挑戦。文章をパソコンで入力するのが当たり前となっている今、「漢字や熟語を間違えることが多くなった」と日本語力の低下に対する危機感を抱いていました。



4級の会場では、4人のお孫さんに「勉強する姿を見せよう」と受検を始めた女性に話を聞きました。今では「自分の日本語力を見直すため」に受検し続けているとのこと、正しい言葉遣いを「自信をもってアドバイスしたい」と意欲を見せていました。

6級の会場では、今回初めて受検する小学校6年生の娘さんのご両親に話を聞きました。「娘は読書が好きなのだけれど、どれくらい学校の授業を理解しているのだろう」と考え、受検を勧めたとのことでした。

受検者の日本語に対する思いは本当にさまざまで、それぞれが抱く興味や問題意識を直に聞くことができました。普段何気なく使う言葉であるからこそ、受検者の日本語に対する深い思いは強く印象に残りました。

第10回「日本語大賞」作品募集

日本語検定委員会は、日本語の持つ美しさや言葉の力を見直すために、日本語をテーマとしたエッセイや作文を募集する「日本語大賞」を主催しています。

テーマ：「忘れられない言葉」

*テーマについて、自由な発想で書いてください。

作品にはテーマにふさわしい独自のタイトルを必ずつけてください。

【募集期間】平成30年6月1日（金）～9月30日（日）

【部門・字数】（※字数は目安です）

- ◆一般の部 2000字～3200字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆高校生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆中学生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点
- ◆小学生の部（高学年） 600字～1200字
（中・低学年） 400字～1000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点

【応募方法】

日本語検定ホームページをご覧ください。

<https://www.nihongokentei.jp>

【作品送付先／お問い合わせ】

特定非営利活動法人  日本語検定委員会 日本語大賞係

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

☎ 03-5390-7472

✉ contest@nihongokentei.jp

*過去の受賞作品は、日本語検定のホームページで
ご覧いただけます。



第9回日本語大賞 作品集『ちょっと気になる日本語』

「言葉の力」はすべての教科学習の基礎である

目白大学短期大学部 ビジネス社会学科准教授

資格支援センター 総合資格支援プロジェクト担当 上岡 史郎先生



目白学園は1923年に創立され、95年目を迎えました。現在、3つのキャンパスに、大学・短期大学部の学生約6,000人が通う総合大学となっております。

本学では5年前から全学的に資格取得に力を入れております。資格取得のための学習は、学生の継続的な学びと合格という成功体験の醸成につながります。特に、日本語検定は、「言葉の力」を身につけることが、すべての教科学習の基礎という考えから、全学共通で取得を目指す検定の一つとなっており、合格者には資格取得奨励金の給付も行っております。

大学では、学科全員が日本語検定を受検したり、短期大学部では、「日本語表現」という1年生必修科目のカリキュラムの一部に日本語検定の内容を組み込んだりするなど、特に力を入れております。2017年度は、大学と短期大学部を合わせて延べ600名程度が受検をしました。現在3級の認定率は順調に伸びているのですが、今後は2級の受検者数と認定率の向上を目指していく段階となっております。

学生には定期的に資格取得についてのアンケート調査を行っております。アンケート結果から日本語検定については、学生が自分の基礎学力の向上に役立つと考えて学習し、受検していることがわかりました。今後は、日本語検定の取得によって「言葉の力」を身につけ、それを元に学生がそれぞれ専攻する専門分野の知識の探求に繋げていけるように指導していきたいと思っております。

児童生徒の自立と社会参加の礎となる言葉の力

国立大学法人 筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭

国立大学法人 筑波大学人間系 客員研究員 加藤 隆芳先生

当校は、国立大学法人附属校で唯一、肢体不自由児が学ぶ特別支援学校であり、我が国の肢体不自由教育において先導的な役割を担っています。

肢体に不自由がある場合、手足や体の動きに困難があるために杖や車いすを使用することはもちろん、身体の動き以外の困難も有することがあります。そのため、一人一人の障害の状態に応じて、生活に工夫を加えることや他者の介助を活用することが必要です。

そのためには、「自分ができること・得意なことは何か」「どこまで自分で取り組み、どこからサポートが必要か」といった思考・判断・行動に要する能力、あるいは、他者に伝

言葉が心を育て、心が人を育てる

福山市立培遠中学校 校長 高橋 正明先生



「培うは遠きかな」これが本校創立の精神です。本校は以前より、当たり前のことが当たり前にできる生徒の育成と集団作りに取り組んできました。i-checkや標準テストを採用し、データから客観的に生徒一人ひとりの学力や生活習慣、意識等の課題を把握するとともに、生徒の学力向上とそれを支えるための集団作りに努めてきました。

近年、地域や社会の激しい変化、そこで生きる生徒の実態を鑑み、「言葉が心を育て、心が人を育てる」という視点から、言語活動を重視し、もっと「日本語」を大切に指導する必要があると考えました。

実際に、「言葉」を豊かにすることで、「言葉」を使って人とつながり、互いに認め合い、多彩な「言葉」で評価し合うことで、集団として高まり合っています。それはi-checkにも数値として現れてきました。さらには、学習の基礎となる「言葉」を多く習得することにより、「言葉」を使った協同学習の場の創造、そこから学力向上を目指していきたいと思っています。

本年度より、日本語検定を学校全体の取組として位置付け、全学年で検定にチャレンジします。朝や放課後に一斉学習時間（「のび太いむ」）を設け、全校生徒が目標をもって日本語学習に取り組んでいきます。このことが、集団作り、学力向上につながり、生徒の生きる力へつながると信じています。これからの国際社会で活躍する人材を育てるためにも、母語である日本語を大切に教育していくとともに、日本語を正しく使ってコミュニケーションがとれる人間へと成長してくれることを願っています。

えるためのコミュニケーション能力が求められます。

これらの基礎となるのは、自分の思考を概念化できる力、思考したことを的確に伝達する力、相手の思いや状況を踏まえる力等です。つまり、これらの言葉の力を育成し、思考を紡ぎ上げるには、たくさんの言葉を知り、より深く理解していくことが大切なのです。

日本語検定で問われる「言葉の意味」「文法」「敬語」「漢字」「表記」「語彙」の6領域は、子どもたちの内面にある言葉を豊かにするにはいずれも重要であり、これらを着実に習得するなかで、思考力・判断力を伸ばしてほしいと考えます。また、自分たちが日々使う言葉について学ぶことで、新たなものを知ること・気づくことの楽しさを感じるとともに、それぞれが願う自立と社会参加が叶うことを願っています。



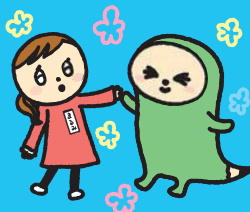
にほんご"あ"ってる？

表記や言葉の使い方に、適切ではないものがあるよ。探してみよう！



にほんご

まるみちゃん、秋祭りのたいこの練習はどうだった？



曲の初めの部分しか練習できなかったけど、
コツはつかめたよ！



まるみ



さわりの部分しかできなかったのは
残念だったね。本番が楽しみだなあ！

答え：さわり

本来、『さわり』は『曲の一番盛りあがる間かせどころ』のことを言うんだ。にほんごのように「曲の初め」という意味で用いるのは本来の使い方ではないので気をつけよう。
「冒頭」「最初」などを使うのがいいね～！



ごいどん

IMAGINE 2020

Printed By TOPPAN



TOPPAN



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

デジタルハイブリッド®の TOPPAN FORMS



デジタルとモノを「組み合わせる」「掛け合わせる」「融合する」ことで情報を核としたさまざまなサービスやソリューションを提供する、新しい事業のカタチ。それが「デジタルハイブリッド」です。
「データ&ドキュメント」「ITイノベーション」「ビジネスプロダクト」「グローバル」の4つの領域で社会やお客さまに貢献する新たな価値創造に挑戦していきます。

トッパン・フォームズ株式会社

本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3
TEL:03-6253-6000 <http://www.toppan-f.co.jp/>



【知ったかぶり】

ビッグデータ？
あれ、大変よね。
うち収納スペース
少ないのよ。



おためし
読売新聞



お申し込みはこちら

新聞で【知ったかぶり】に、さようなら。
ネットで簡単、1週間無料。



フリーダイヤル 0120-4343-81

受付時間:平日9:00-21:00 読売新聞読売センターへ

※本サービスは読売新聞

お客様の個人情報(読売新聞社及びお客様の地域を担当する読売センター(YC)が共同で取得・管理し、配達・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購読の延長・再開のお勧め、YC及び読売グループが協力する・提携する企業等の商品・サービスのご案内、宅配業務などに利用させていただきます。

平成 30 年度
第 2 回
日本語検定
受検案内

[一 般 会 場] 11月10日(土)
[準 会 場] 11月9日(金)・10日(土)
[申 込 期 間] 8月1日(水)～10月12日(金)
[実 施 都 市] 全国の約83都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検時間	受検の目安						
				社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1 級	社会人上級レベル	6,000 円	60分							
2 級	大学卒業レベル～ 社会人中級レベル	5,000 円								
3 級	高校卒業レベル～ 社会人基礎レベル	3,500 円								
4 級	中学校卒業レベル	2,000 円	50分							
5 級	小学校卒業レベル	1,500 円								
6 級	小学校 4 年生レベル	1,500 円								
7 級	小学校 2 年生レベル	1,400 円								

公式ホームページ <https://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題:「にほんごあってる？」で取り上げた言葉は何でしょうか?
○の部分を持って完成させてください。

「さ○り」

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成 30 年 11 月 30 日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。)



特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

【お問い合わせ先】 0120-55-2858

<https://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成 30 年秋号 (No.24)